

## 第110回:さらば重慶!

今日の昼前に109回コラムを書きあげた丁度その時、重慶の薄熙来書記が更迭されたという新華社電が飛び込んできた。政界の惑星・薄熙来にとってこの大本営発表が不吉なのは「尚、薄熙来は別途任用する」という「尚書き」が付いていないことである。早い話が「薄さんの新ポストは用意してないよ、更迭ではなくて解任だよ」と新華社は語っている。但し大本営は薄熙来を「同志」と呼んでおり、まだマンな待遇ではある。後任は北朝鮮の誇る金日成総合大学卒という立派というかユニークな経歴を有する張徳江副首相の兼任である。これはやむを得ない措置である。切羽詰まって米総領事館に逃げ込んだ薄熙来の腹心の王立軍・公安局長(重慶副市長)の後任が、胡錦濤を頂点とする共産主義青年団(共青团)出身の閔海祥だったことから、薄熙来の後任は、10年後に中国国家主席になる可能性のある共青团のエース周強(湖南省書記)ではないかとの噂があったのは事実である。

経験者は知っているだろうが、人事異動とは死ぬほど面倒な作業である。もし周強を湖南省から引っっこ抜いて重慶に回せば、周強の後任は某省の某省長の昇格、その後任は某委員会の某主任、そのまた主任の後任はと気の遠くなるような人事異動を発令する必要がある、いま党内にそんな時間的余裕はなく胡錦濤と党組織部は副首相兼務という奇策に打って出たようである。流れ弾に当たり実質降格となった張徳江には気の毒だが、故人曰く「禍福は糾える縄の如し」と云う通り、これで張徳江が秋の党大会で政治局常務委員に昇格する可能性が浮上し、本人は必死に笑いをかみ殺している可能性もある。

政治家は多忙である。東奔西走という通り、きのう全人代が終了したばかりなのに、政治局委員の李源朝と張徳江、そして当事者の薄熙来の三人が急いで重慶に飛び、今朝の重慶指導者会議に参加し、李源朝・組織部長が人事異動書を読み上げて薄熙来を更迭し、後任の張徳江を発令する儀式を行ったようである。党指導部の周章狼狽、てんやわんや振りが良く分かる。

全人代が閉幕した昨日、温家宝総理が恒例の記者会見を開き、路透社(ロイター通信)からの質問に答え、重慶某重大事件について語っているが、そのニュアンスは報道各社まちまちであったようで、ピント外れの報道をした社もあれば、読売新聞「温首相、重慶市トップを批判・・・異例の厳しい口調」、ロイター通信「中国の温首相、重慶の薄熙来氏を強く非難」、と正鵠を射て面目を施したメディアもあった。

さて今後のことを考えてみよう。ハッキリ言って薄熙来の将来は暗いだろう。共産党の辞令を読む限り、「別途任用される」可能性が消え、彼は単なる政治局委員となってしまった。もし彼を党内で別の任務に充てるのであれば「別途任用」の後書きがあるはずである。来春、全人代の副委員長や、政治協商会議副主席といった名誉職に就任する可能性はゼロではないが、そんなウルトラCができるのであれば、一旦彼を何か適当な職務担当の政治局委員に横滑りさせることも可能である。2009年、ウルムチで発生したウイグル族による大規模暴動事件の責任をとって、新疆ウイグル自治区から北京に召還され、政法委員会副書記に就任した王樂泉政治局委員の実例がある。薄熙来の今後は明るくないだろう。理論的には政治局常務委員

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

に昇格する可能性も残ってはいるが、それは単なる統計学的可能性である。

この政変が今秋発足する習近平体制に与える影響は軽微と判断される。いわんや中国経済への影響はないに等しい。共青团や太子党、江沢民グループ等が入り混じって構成される新政権の権力バランスが、多数派の共青团側に更に傾くことは間違いないが、太子党の実力者とはいえ薄熙来のようなスタンドプレーを好む策士の存在は、習近平・王岐山・俞正声たち太子党派にとっても諸刃の剣である。薄熙来に盟友が少ないのは、彼の陽気で開けっ広げに見える風貌の裏に、何か得体の知れない謀略のにおいを嗅ぎとる人が多いからだと言われているが、何となく分かるような気がする。

むかし毛沢東の暗殺に失敗してモンゴル草原に墜死した林彪の評価を巡り、彼は極左か、それとも極右か、毛沢東や周恩来も加わって大騒ぎとなった政治事件があったが、薄熙来も改革派か保守派かはっきりしないカメレオンである。大連市長や商務部長という海外との接点の多い華やかな要職を経験した薄熙来。再婚相手は高名な弁護士であり、薄瓜瓜という珍しい名前の息子はオックスフォード大学からハーバードの大学院に移り、現地社交界の中心人物でもあるという。このように華麗な一族のリーダーが、ある日突然「毛沢東時代に回帰して革命歌を歌おう」と叫んでも、周りはその真意を測りかねて右往左往するばかりである。「自分の父親は中華人民共和国の創設者の一人であり、その血統を継ぐ吾輩は中国共産党の指導者になる正当性を有しておる！」と露骨に云えないものだから、立身出世のための方便で政治カラーを変え、最後の勝負どころの重慶では、息子が乗り回しているフェラーリと同じ赤色の路線で重慶のポピュリズムを煽り、北京への凱旋を狙ってきたのである。

彼が去っても重慶経済はびくともしないだろう。政治はともかく薄熙来の経済運営や行政手腕に期待する人は少なく、この点が同じ太子党でも王岐山との大きな違いである。王岐山は行政官としてオールラウンドプレイヤーか否か不詳だが、少なくとも彼には広東省ノンバンク破綻危機(1998年)、謎の疫病SARS危機(2003年)、米国金融危機(2008年)を乗り切った実績があり、その実績をひっさげて、いま欧州危機に対応している。王岐山には危機管理の専門家として、中国で「消防隊長」と呼ばれているが、薄熙来にはそれがない。だから彼が重慶から去っても、惜しい人材が引退したという社交辞令で決着がつくのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年3月15日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号  
日本証券業協会 加入  
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075% (税込み) (約定代金が260,869円以下の場合、3,150円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20% (税込み) (約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。